

循環器内科学

〔M6-70046P1〕

1 臨床実習の概要

循環器内科学実習では循環器領域の疾患を持つ患者の診療に積極的に参加し、内科一般と主に循環器領域の主要な病態、診断、治療を理解し、患者とチームメンバーを尊重した循環器領域の疾患に関わる医療を学ぶ。ユニット講義の学習を発展させ、臨床実習だけではなく、関連のユニット講義の到達目標も合わせて達成するように進める。

2 金沢医科大学の学修成果（アウトカム）

- ①豊かな人間性と倫理観
- ②生涯学習
- ③医学知識と技能
- ④患者中心・チーム医療とコミュニケーション能力
- ⑤地域医療・社会貢献・国際貢献
- ⑥科学的態度・探求心

3 臨床実習の学修成果（アウトカム）

第5学年における到達目標よりも、より実践的な内容を目指す。

※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学の到達目標との関連を示す。

- 担当患者ならびに関わる多職種と良好な人間関係をつくることのできる（①④）
- 循環器領域の疾患を通して疾患を探究する方法論（文献検索と理解など）を実践できる（②③⑥）
- 循環器領域の疾患の症例を自ら学び、まとめ、症例提示をすることができる（③⑥）
- 循環器領域の疾患の患者を通して…
 - ・ 医療面接、身体診察など基本的な情報収集ができる（③）
 - ・ 収集した情報から臨床問題の提示、主要な鑑別診断を挙げることができる（③）
 - ・ 臨床的諸問題に対して初期計画（診断、治療、教育）を立案できる（③）
 - ・ 主要な症候・疾患における病態生理、組織学的・臨床的特徴、診断基準を説明できる（③）
 - ・ 主要な症候・疾患における必要な検査、治療、合併症、予後の要点を説明できる（③）
 - ・ 基本的な検査を実施し、結果を解釈できる（③）

● 循環器系の医療に関わる…

- ・ 多職種・チーム医療に学生として参加できる (④)
- ・ 社会制度 (厚生医療など) を説明できる (④⑤)

※主要な疾患、症候、検査、治療

症候

動悸、胸痛、呼吸困難、ショック、意識障害・失神、チアノーゼ、浮腫、血圧異常

疾患・治療

心不全：急性・慢性、

虚血性心疾患：安定狭心症（労作性、冠攣縮性）・急性冠症候群（急性心筋梗塞・不安定狭心症）、

不整脈：頻脈性不整脈（期外収縮、WPW 症候群、発作性上室性頻拍、心房細動、心房粗動）・徐脈性不整脈（同不全症候群、房室ブロック）、

弁膜症：主な弁膜症（大動脈疾患、僧帽弁疾患）・感染性心内膜炎、

心筋・心膜疾患：特発性心筋症・二次性心筋疾患、

動脈疾患：閉塞性動脈硬化症、

高血圧症：本態性高血圧症・二次性高血圧症

検査・医用機器など

心電図（12 誘導、ホルター）、心エコー（体表面、経食道）、冠動脈造影、CT/MRI/RI 検査、心臓電気生理学的検査、カテーテル治療（冠動脈、末梢動脈、不整脈）

4 方 略

病棟、ならびに外来臨床実習、場合によっては学外実習もあり得る

5 事前事後学修について

臨床実習開始前に循環器内科領域の第 5 学年時の臨床実習予習ノートを復習しておくこと

【自己学習（事前事後学修）に必要な時間】

実習 1 日あたり 予習：15 分 復習：60 分

6 課題（実習中の課題やレポート等）に関するフィードバック

担当患者の提示や口頭試問については実習中の現場でその都度フィードバックを行う。

7 評 価

評価項目	評価割合
臨床実習出席（出席表）	30 %
担当患者提示（総括、教授回診、アンギオ検討会）	30 %
口頭試問（総括、教授回診、アンギオ検討会）	30 %
その他	10 %
上記の評価項目を総合的に判定する。	

8 実習スケジュール

別項参照

9 教 育 担 当 者

実習責任者：講座主任（循環器内科学）

担当教員：赤尾 浩慶、藤岡 央、若狭 稔、藤林 幸輔、高村 敬明、藤田 航、
上野 英一、澤口 潤、佐伯 泰彦、秋田 恵理、楠目、祐基石崎 浩文
田中 海、中川 智弘、正木 美遥、その他研究医、医員、大学院生

10 参 考 図 書 ・ 文 献

購入すべき図書

1. 新臨床内科学 第10版 医学書院（矢崎 義雄 監修）
2. 内科学 第12版 朝倉書店（矢崎 義雄 小室 一成 総編集）

購入するとよい図書

1. 内科診断学 第4版 医学書院（福井 次矢 奈良 信雄 松村 正巳 編集）

循環器内科学

週間スケジュール

8:00			9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00		19:00	
月		第1日目 オリエンテーショ ン(医局)[赤 尾]	外来・病棟での実習 [藤岡・赤尾]										外来・病棟での実習 [上野・高村]								18:15～ 症例検討会 (医局)			
火			外来・病棟での実習 [若狭・藤林]										外来・病棟での実習 [藤林・若狭]						18:00～ 合同症例検討会 (医局)					
水	8:30～ 症例検討会 (医局)		教授回診			多職種 カンファ								外来・病棟での実習 [佐伯・高村]										
木			外来・病棟での実習 [藤田・楠目]										外来・病棟での実習 [赤尾・秋田]											
金			国試対策講義										外来・病棟での実習 [藤岡・澤口]											

第1日目の集合場所・時間：臨床研究棟6階 循環器内科学 医局 午前8時30分

救急患者の検査・治療等に積極的に参加する。

原則として、指導医のもとに患者1人を担当する。更に、指導医が受けもっている患者を2～3名を合わせて診察する。学生の希望に沿って第1週および第2週の実習内容を決定する。希望者は夜間・時間外の緊急診療にも参加する。

実習の終わりに担当患者の1例について学生間でカンファレンス（総括）を行う。

（日程は随時決定する）